

# エコアクション21

## 2023年度 環境経営レポート

対象期間

2023年4月1日～2024年3月31日

発行日

2024年5月20日



**東洋ガラス機械株式会社**  
TOYO GLASS MACHINERY CO., LTD.

# 目次

---

1. 組織の概要
2. 対象範囲
3. 環境経営方針
4. 環境経営目標
5. 環境経営計画
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

# 1. 組織の概要

## ◇ 事業所名及び代表者氏名

東洋ガラス機械株式会社

代表取締役社長 永澤 一敏

## ◇ 所在地

神奈川県横浜市鶴見区矢向1丁目1番70号

(2020年7月1日～)

## ◇ 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 常務取締役 中川 浩一

担当者 品質保証部 俵 勉

連絡先 電話 045-585-1650 FAX 045-570-4515

ホームページアドレス <http://www.tgm-co.com>



◇ 創立年 1959年

◇ 資本金 1億円

◇ 総従業員数 98人【常勤役員4名除く】2023年4月1日時点

95人【常勤役員4名除く】2024年4月1日時点

～東洋ガラス機械は、東洋ガラスグループ・東洋製罐グループの一員です～

## 2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

### 1. 対象となる組織

全組織

### 2. 事業活動（対象範囲）

- ・ ガラス容器(びん、食器)及びプラスチック容器などの意匠設計、金型設計、金型製造販売。
- ・ びん、食器、プラスチック容器製造用諸機械の設計、製造販売。
- ・ ガラス容器(びん、食器)製造に関する技術指導。
- ・ 食器機械および一般産業機械の開発設計、製造販売及び輸入販売。

### 3. 対象期間

2023年4月1日～2024年3月31日

### 4. 発行日

2024年5月20日（次回発行予定2025年5月）

### 3. 環境経営方針

東洋製罐グループの一員として、地球環境の保全と改善を重要課題と強く認識し、企業活動において環境に対し自主的に、積極的に推進していきます。

#### 《 環境保全への行動指針 》

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 環境経営目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 生産方法の見直しや不良低減で、当社が使用する電力エネルギーの不要な部分の徹底的な削減を推進します。
4. 物流梱包の見直し、歩留り向上、不良低減で、廃棄物の削減を図ると共に、環境改善に努めます。
5. 作業に使用する化学物質使用量の抑制に努め、環境保全に努めます。
6. 製造設備におけるさまざまなロスを見直し、効率的で省エネルギーな生産体制の推進に努めます。
7. 環境にやさしい設計及び製品の製造を積極的に推進します。
8. 全従業員並びに当社で働く人々に、この環境経営方針を周知し、環境改善に努めます。

東洋ガラス機械株式会社  
2019年4月1日  
代表取締役社長

永澤一敏

## 4. 環境経営目標

環境への負荷の現状と取組状況のチェック結果を検討し、二酸化炭素排出量の95%を占める電力使用量、廃棄物処分量、コピー用紙購入量、総排水量の削減に取り組む。環境負荷と環境への取組結果を踏まえ、定めた環境負荷低減のための目標値は次の通りである。

環境負荷低減目標 基準値：2022年度（2022年4月～2023年3月）とする

項目	単位	基準値	2023年度		2024年度		2025年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	980,720	972,663	99.2%	970,561	99.0%	968,459	98.8%
電力使用量	kWh	2,107,537	2,090,677	99.2%	2,086,462	99.0%	2,082,247	98.8%
自動車燃料使用量	L	7,028	6,887	98.0%	6,817	97.0%	6,747	96.0%
コピー用紙購入量	kg	1,358	1,222	90.0%	1,188	87.5%	1,154	85.0%
廃棄物処分量A	kg	36,540	35,809	98.0%	35,444	97.0%	35,078	96.0%
廃棄物処分量B	kg	4,029	3,948	98.0%	3,908	97.0%	3,868	96.0%
総排水量	m3	1,302	1,276	98.0%	1,263	97.0%	1,250	96.0%
化学物質使用量	kg	70	70以下	100%	70以下	100%	70以下	100%
本来業務	加工ロス削減、設備・機械のメンテナンス、加工・作業の見直し、加工プログラムの見直し、カイゼン提案による作業時間短縮等をテーマに活動を行っている。							

使用電力に対する二酸化炭素排出係数は2020年度の0.457を採用  
 廃棄物処分量Aはリサイクル含む、廃棄物処分量Bはリサイクル除く

## 5-1. 環境経営計画

No.	推進項目	単位	目標	計画内容
1	二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	972,663 以下	室温調整による電力使用量監視、社有車のガソリン使用量監視、品質パトロール
2	電力使用量削減	kwh	2,090,677 以下	室温調整による電力使用量監視、品質パトロール、コンプレッサー室ファンの設定変更
3	自動車燃料使用量削減	L	6,887 以下	社有車のガソリン使用量監視
4	コピー用紙購入量削減	kg	1,222 以下	両面印刷、集約印刷の実施
5	廃棄物A処分量削減	kg	35,809 以下	リサイクルの推進、分別の細分化
6	廃棄物B処分量削減	kg	3,948 以下	リサイクルの推進、分別の細分化
7	総排水量削減	m <sup>3</sup>	1,276 以下	水使用量の把握、節水の呼びかけ
8	化学物質使用量削減	kg	70 以下	使用量の把握

## 5-2. 環境経営計画（本来業務）

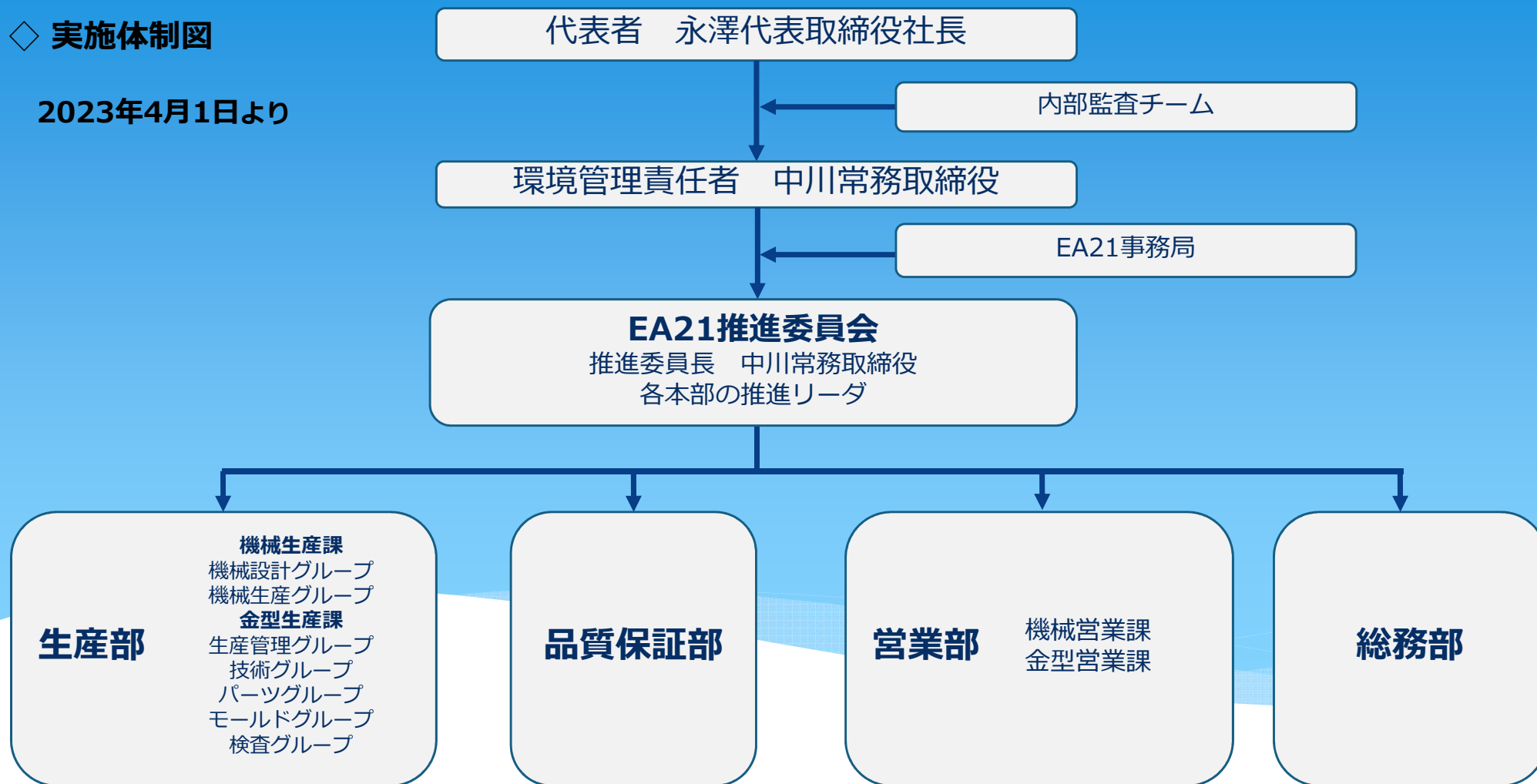
実施部署		計画内容
営業部	金型営業課	纏め出荷によるトラック数の削減(CO2削減)
	機械営業課	
品質保証部		不良原因追及手法の教育（なぜなぜ分析等）
		生産部へ外部講習の受講提案と教育の実施
生産部	機械生産課	設計レビューの拡大と充実
	金型生産課	品質向上させて再製作などに掛かる生産ロス（素材、溶接、修正工数）を削減
総務部		業務システム活用等による自部門業務効率化
		データベース整備推進



## 6-1. 実施体制（2023年4月1日～）

### ◇ 実施体制図

2023年4月1日より



## 6-2. 主な取組内容

実施部署		計画内容	取組内容
営業部		纏め出荷によるトラック数の削減(CO2削減)	週3回で運行している輸送を2ヶ月に1回は週2回で運行するために生産部と出荷計画を調整した。機械営業とコラボし、機械事業の部品と一緒に納品するため毎朝の営業ミーティングで情報共有し、スケジュールの調整を行った。
品質保証部		不良原因追及手法の教育（なぜなぜ分析等） 生産部へ外部講習の受講提案と教育の実施	なぜなぜ分析の社内教育を継続し、品質問題発生後の原因の究明と対策の立案をスピードアップし、類似する不良発生防止に繋げる。 生産部や営業部に『人為ミスの未然防止手法』『品質保証』『品質不正問題』等を教育する。
生産部	機械生産課	設計レビューの拡大と充実	設計前や工事前にレビューを行う事でミスを低減させる。
	金型生産課	品質向上させて再製作などに掛かる生産ロス（素材、溶接、修正工数）を削減	実作業と作業標準との違いを見直し⇒教育⇒効果の確認を行う。
総務部		業務システム活用等による自部門業務効率化	各行政の申請や届出の電子申請や、社内の申請業務を電子化し、届出・申請業務の効率化を図る。
		データベース整備推進	データベースを活用し、データの一元化や申請・承認業務の効率化を図る。

## 6-3. 地域社会貢献活動 ①

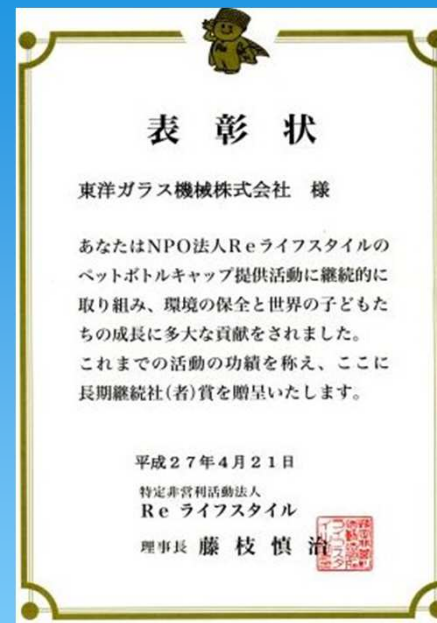
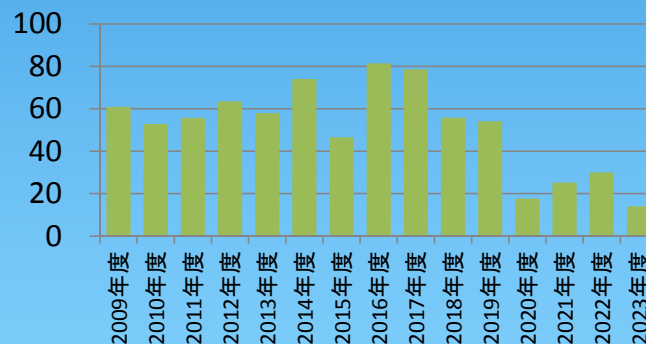
### ◇ ペットボトルのキャップ分別回収

社内で飲用したペットボトルのキャップを分別回収し、特定非営利活動法人（NPO法人）Reライフスタイルに提供しています。集めたキャップは樹脂メーカーに引き取られ、その対価が「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会（JC V）」を通じて世界の子どもたちにワクチンが届けられます。

2009年4月からの活動に対して、NPO法人より2015年4月に「長期継続社賞」の表彰状を贈呈されました。（323.3kg259人分）

2023年度は5千6百個（ワクチン14本分）を回収して提供しました。

ワクチン数



長期継続社賞 表彰状

### ◇ 使用済み切手の回収

使用済み切手をJOCS（公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会）に送ることにより、アジアやアフリカの草の根の人々の自発的な努力をワーカー派遣と奨学金支援により側面から支える運動に参加しています。

5,000枚（約1kg）の使用済み切手を換金すると約1,800円、これはタンザニアで看護学生ひとりの1年分の教科書代になります。

従来廃棄されていた使用済み切手を収集し、定期的にJOCSに、送付しています。



## 6-3. 地域社会貢献活動 ②

### ◇ 会社外周部の清掃（1年に一度実施）

2023年10月11日（水）鶴見区地域振興課 資源化推進担当 主催、  
「鶴見クリーンキャンペーン2023」に参加しました。

当日は、昨年につき、東洋製罐(株) メビウスパッケージング(株)、東洋メビウス、  
東洋ガラス(株)と合同で、鶴見川沿岸（末吉橋～新鶴見橋）の清掃を実施しました。



全体では40名強が参加  
東洋ガラス機械参加は11名



## 7-1. 2023年度環境活動の取り組み結果の評価

No.	推進項目	単位	目標	実績	評価
1	二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	972,663 以下	987,105	×
2	電力使用量削減	kwh	2,090,677 以下	2,118,853	×
3	自動車燃料使用量削減	L	6,887 以下	7,502	×
4	コピー用紙購入量削減	kg	1,222 以下	1,268	×
5	廃棄物A処分量削減	kg	35,809 以下	30,792	○
6	廃棄物B処分量削減	kg	3,948 以下	2,512	○
7	総排水量削減	m <sup>3</sup>	1,276 以下	1,290	×
8	化学物質使用量削減	kg	70 以下	5.06	○

- ◆ 二酸化炭素排出量削減は目標未達でした。(排出係数は0.457を使用)
- ◆ 電力使用量については、目標未達でした。
- ◆ 自動車燃料については、目標未達でした。
- ◆ コピー用紙については、目標未達でした。
- ◆ 廃棄物Aに関しては、目標達成しました。
- ◆ 廃棄物Bに関しては、目標達成しました。
- ◆ 排水量削減については、目標未達でした。
- ◆ 化学物質使用量については、維持管理の範囲です。

## 7-2. 環境活動の取り組み結果の推移 ①

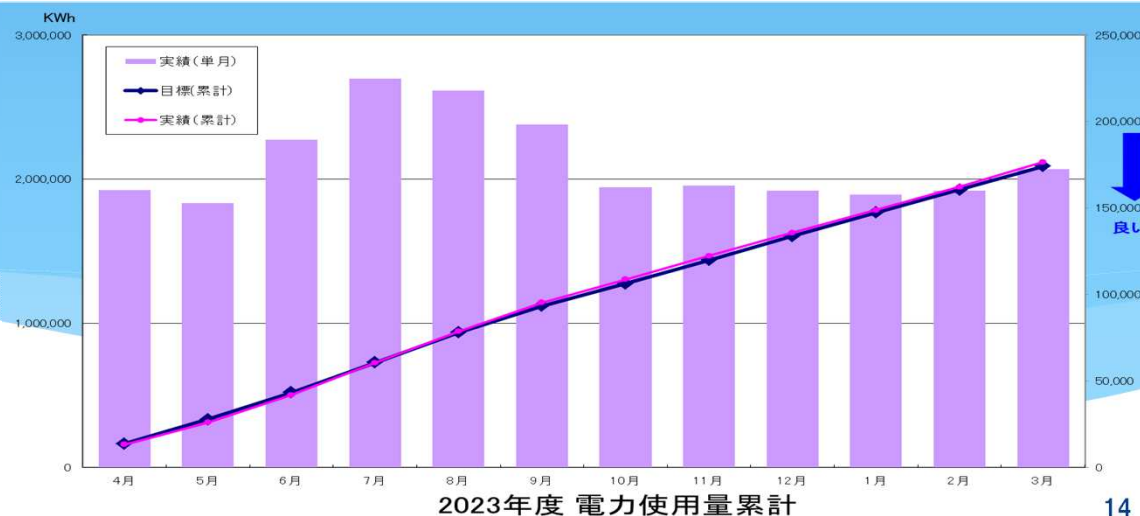
**2023年度  
二酸化炭素排出量累計**

目標未達成



**2023年度  
電力使用量累計**

目標未達成



## 7-2. 環境活動の取り組み結果の推移 ②

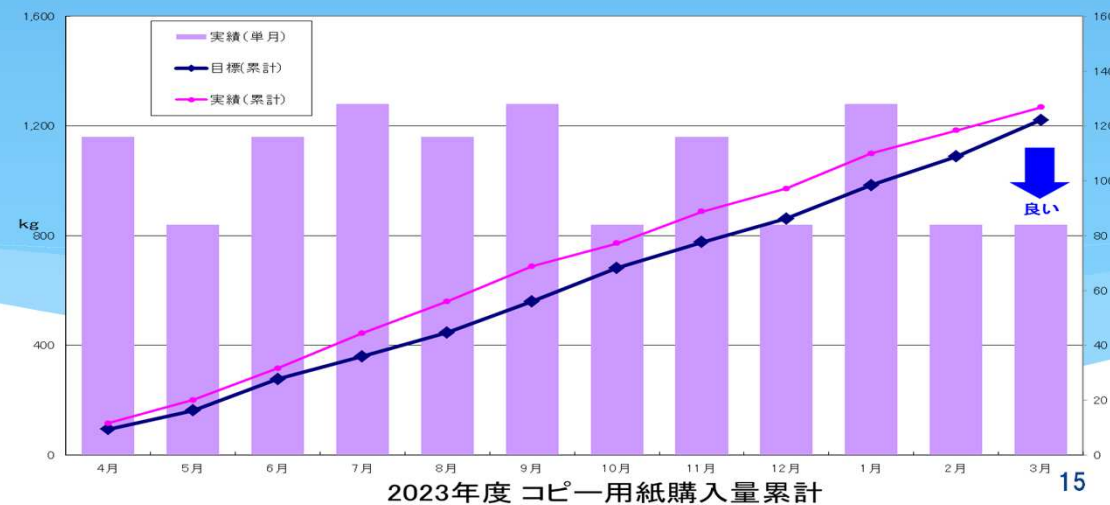
**2023年度**  
自動車燃料使用量累計

目標未達成



**2023年度**  
コピー用紙購入量累計

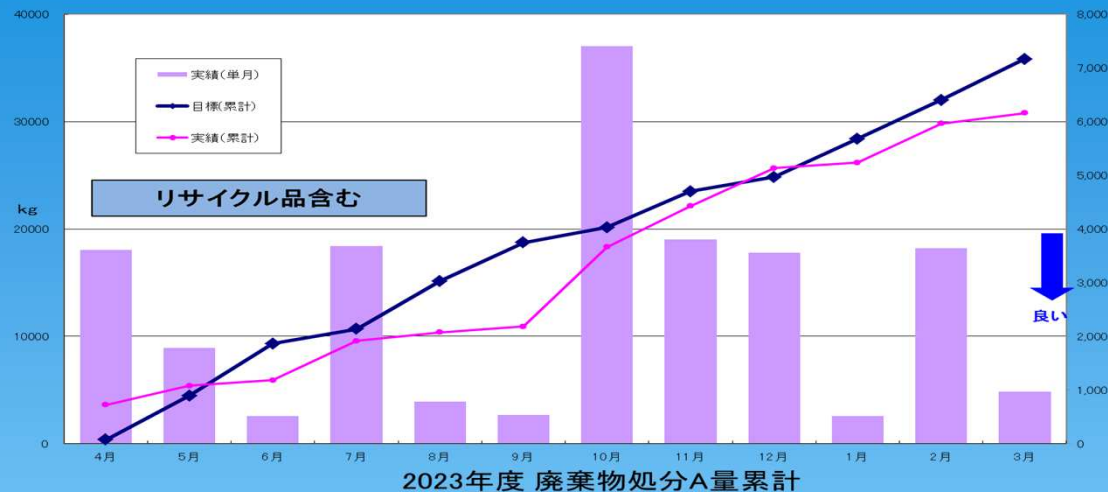
目標未達成



## 7-2. 環境活動の取り組み結果の推移 ③

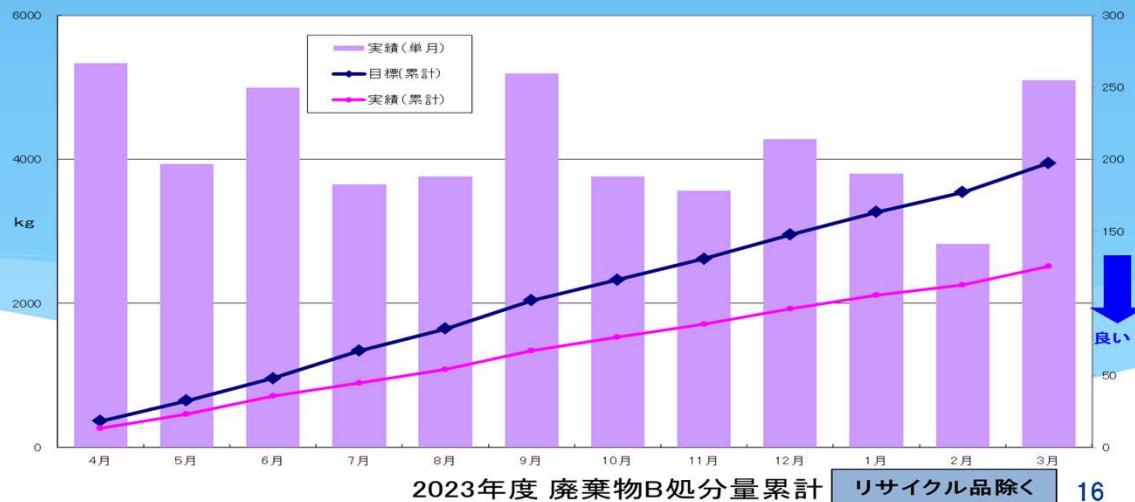
**2023年度**  
廃棄物A処理量累計

目標達成



**2023年度**  
廃棄物B処理量累計

目標達成

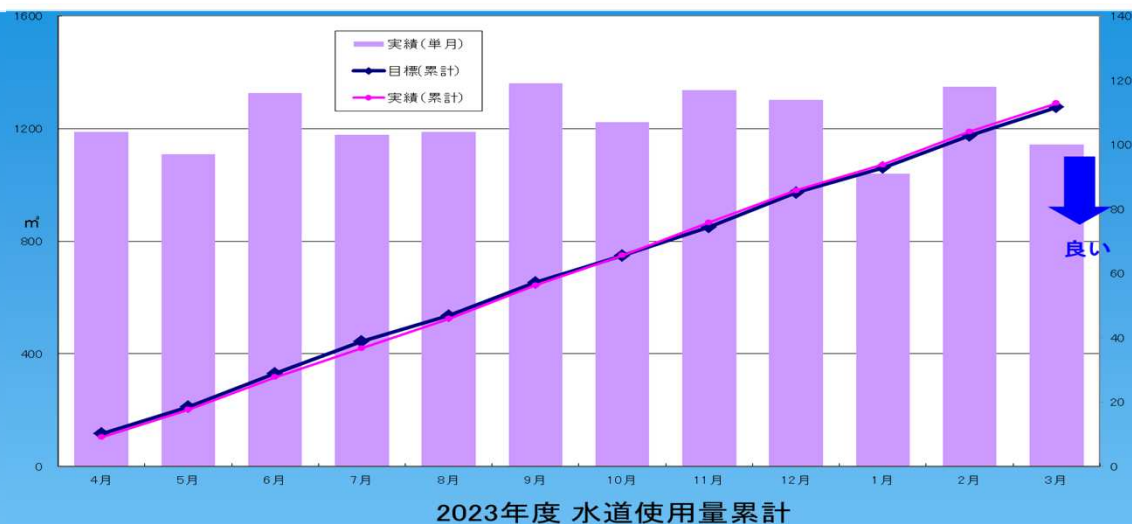




## 7-2. 環境活動の取り組み結果の推移 ④

**2023年度**  
水道使用量累計

目標未達成



## 7-3. 2024年度環境経営目標

環境への負荷の現状と取組状況のチェック結果を検討し、二酸化炭素排出量の95%を占める電力使用量、廃棄物処分量、コピー用紙購入量、総排水量の削減に取り組む。環境負荷と環境への取組結果を踏まえ、定めた環境負荷低減のための目標値は次の通りである。

環境負荷低減目標 基準値：2023年度（2023年4月～2024年3月）とする。

項目	単位	基準値	2024年度		2025年度		2026年度	
			目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
二酸化炭素排出量	kg-CO2	987,105	961,129	97.4%	960,149	97.3%	959,169	97.2%
電力使用量	kWh	2,118,853	2,065,386	97.5%	2,063,279	97.4%	2,061,171	97.3%
自動車燃料使用量	L	7,502	6,887	91.8%	6,880	91.7%	6,873	91.6%
コピー用紙購入量	kg	1,268	1,100	86.8%	1,090	86.0%	1,078	85.0%
廃棄物処分量A	kg	30,792	30,176	98.0%	30,022	97.5%	29,868	97.0%
廃棄物処分量B	kg	2,512	2,450	97.5%	2,437	97.0%	2,424	96.5%
総排水量	m3	1,290	1,276	98.9%	1,263	97.9%	1,250	96.9%
化学物質使用量	kg	70	70以下	100%	70以下	100%	70以下	100%
本来業務	加工ロス削減、設備・機械のメンテナンス、加工・作業の見直し、加工プログラムの見直し、カイゼン提案による作業時間短縮等をテーマに活動を行っている。							

使用電力に対する二酸化炭素排出係数は2020年度の0.457を採用  
 廃棄物処分量Aはリサイクル含む、廃棄物処分量Bはリサイクル除く

## 7-4. 2024年度の環境経営計画

No.	推進項目	単位	目標	計画内容
1	二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	961,129 以下	室温調整による電力使用量監視、社有車のガソリン使用量監視、品質パトロール
2	電力使用量削減	kwh	2,065,386 以下	室温調整による電力使用量監視、品質パトロール
3	自動車燃料使用量削減	L	6,887 以下	社有車のガソリン使用量監視、公共機関利用
4	コピー用紙購入量削減	kg	1,100 以下	両面印刷、集約印刷の実施、ペーパーレス会議の推進
5	廃棄物A処分量削減	kg	30,176 以下	リサイクルの推進、分別の細分化
6	廃棄物B処分量削減	kg	2,450 以下	リサイクルの推進、分別の細分化
7	総排水量削減	m <sup>3</sup>	1,276 以下	水使用量の把握、節水の呼びかけ
8	化学物質使用量削減	kg	70 以下	使用量の把握

## 7-5. 2024年度の環境経営計画（本来業務）

実施部署		計画内容
営業部	金型営業課	各担当がスケジュール調整を行い可能な限り一緒に顧客訪問する。
	機械営業課	金型出荷用定期便を週3回から週2回に。
品質保証部		社員の品質意識向上（教育・パトロールによる指摘）
		職場での品質KYTの浸透
生産部	機械生産課	設計レビューの拡大と充実(継続)
	金型生産課	省エネを意識した改善の立案 品質向上させて再製作などに掛かる生産ロス(素材及び溶接費用)を削減する。
総務部		昼食（弁当）の電子申請化 税務関係の電子申請化 データベースの構築（マネジメントシステム・設備関連）

## 8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### ◆当社に関係する環境関連法規◆

廃棄物処理法、フロン排出抑制法、消防法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、資源有効利用促進法、家電リサイクル法、自動車リサイクル法、建築物省エネ法、工場立地法、下水道法および横浜市生活環境の保全等に関する条例、横浜市火災予防条例

### ◆関連法規の遵守状況結果及び訴訟の有無は次の通りである。

内容	結果
法律違反の有無	なし
訴訟の有無	なし

適用となる14の法規制を「環境関連該当法規等一覧表」にまとめ、年に一度、「環境法規制等の遵守チェックシート」に基づき、遵守状況をチェックしています。

その結果を要約すれば、上記のように過去3年間、関係当局からの違反等の指摘はありません。

## 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

### 《 見直し項目・指示 》

1. 環境対応は年々進化している。環境展およびその他の展示会でも省エネだけではなく環境対応情報がある。その情報を入手し社内展開できるものが無いか検討する事。
2. 今年度以降も設備投資が積極的に行われるが、事前に（検討段階で）環境を配慮することが重要。加工機、社有車、情報インフラ等の更新後の情報を集め考慮する事。
3. 廃棄物量に関してコロナ禍以降ペーパータオルの使用中止が効果があったとあるが、他にもネタが無いか探すこと。
4. 工場建設時に省エネ機器を導入し節電（CO2削減）に大きく貢献したが、再度機器の設定値など見直し（トイレ水、照明タイマー、ポンプ圧力等）もう一段レベルの高い省エネが図れないか見直すこと。

- ・ 環境方針は変更の必要なし
- ・ 環境目標を承認する
- ・ 環境経営マニュアルは変更の必要なし
- ・ 実施体制は改訂39を承認する